第1回　すくわくプログラム

～音楽演劇表現活動～　　2026.4.22

「すくわくプログラム」は、すべての乳幼児の「伸びる・育つ（すくすく）」と「好奇心・探究心（わくわく）」を応援する幼保共通のプログラムです。幼稚園や保育所といった施設類型の垣根を越え、主体的・協働的な探究活動を通じ、子供の豊かな心の育ちをサポートし、非認知能力の育ちにも繋がっていきます。









主な活動内容（例）

身近な音や素材で遊ぶ

ビニール袋やポリ袋をカシャカシャ鳴らす、空き缶やペットボトルを叩く、新聞紙を丸めるなど、身の回りの素材から出る音や感触を楽しむ（乳児期など）。
カプラや紙コップを崩して音の違いを聞き比べるなど、「どんな音がするかな？」と音を探す。

楽器やリズム遊び

鈴やタンバリン、トライアングルなどの楽器に触れ、音を出してみる。
ピアノや CD の音楽に合わせて、即興でリズムを鳴らしたり、音の高低を声や体で表現したりする。

身体全体を使った音楽表現

リトミックのように、音楽のテンポやリズムに合わせて全身を動かしたり、踊ったりする。
「びっくりしたときはドンッ！」など、目に見えない自分の気持ちや「こころの音」を楽器や動きで表現する。

今年度よりすくわくプログラムが始まりました！初めての取り組みに子どもたちは「何をするんだろう？」とワクワクしていたり、何だかそわそわしていたりしていました。初めてということで自己紹介からスタート。その後はリズムあそびを取り入れながら名前呼び＋返事、そして手拍子を。リズムにのりながら行うことはなかなか難しくみんな頑張ってに行っているのが印象的でした。他にも身体遊びを行ったり絵本より表現あそびを行ったりし、刺激もたっぷり！！絵本は『はらぺこあおむし』でしたが特に蝶の表現ではみんなとても伸びやかに全身を使って動く姿に、講師の岡村先生も驚いていましたよ♪最後は即時反応を行い終了となりました。子どもたちからは「楽しかった！」「恥ずかしかった」「もっとやりたかった」という言葉が聞こえてきました。
来月が楽しみな様子でした。

